

安保法制廃止をめざすスポーツと体育の会

よびかけ

違憲の安保法制が強行され、安倍政権は戦争参加の措置を急いでいます。その暴挙を許さず、憲法九条を守り、政治に立憲主義をとりもどすたたかいをすすめるときです。

「安保法制に反対するスポーツと体育の会」を立ち上げ、その意志を表明してきた私たちは、今日の事態を直視し、この会を「安保法制廃止をめざすスポーツと体育の会」に改称し、ひきつづき平和を求めるみなさんと連帯して行動していく決意です。

戦争は、人間の生命をはぐくむスポーツ・体育をないがしろにします。

戦争は、各人の個性を伸ばすスポーツ・体育とその組織を統制し、自由な活動を奪います。

戦争は、人びとの相互理解をうながすスポーツに、差別と憎悪を持ち込みます。

戦争は、暴力そのものであり、スポーツによる平和な交流を破壊します。

過去の戦争は、バットを握った手に、ピッケルを持つ手に、人を殺す銃を握らせ、平和のスタジアムを戦争の基地に変えました。この痛恨の歴史を繰り返さないためにも、スポーツと体育を愛する私たちはこれを教訓として思い起こし、戦後70年の歴史を通して築きあげてきた「戦争をしない国」に誇りを持って、平和への決意をあらたにするものです。

スポーツと体育は、自己の可能性を伸ばし、人と人との理解と交流を深めるいとなみです。私たちは、このいとなみが人権を大切に平和を促進する力であることを確信し、とりわけ未来を担う若い世代が存分にスポーツと体育に打ち込んでいく環境を、戦争による破壊から守り抜くことを行動の原理として自覚するものです。

戦争に走る安倍政権の暴走に抗して、多くの人びとが「戦争をするな」、「憲法9条を守れ」、「立憲主義を破壊するな」の声をあげて立ち上っています。それと連帯し、「スポーツは平和とともに」の思いをさらに高め、安倍政権を追い込んでいきましょう。

ここに「安保法制廃止をめざすスポーツと体育の会」は、スポーツと体育を愛好するすべての人びとに、「安保法制廃止」をめざして共にたたかうことをよびかけます。

(2016年1月21日)